

あさがお通信

理事長挨拶

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃は当法人の運営、活動に様々なご協力を賜り、誠に有難う御座います。新理事長として一言ご挨拶を述べさせていただきます。

私のあさがおとの最初の関わりは顧問弁護士としてのものでした。設立からそれ程経ていない時期で、当時は事務局長1名と職員3名の小さな組織でした。それでも高齢者・障害者の生活を守り、支援するための総合的な権利擁護の組織が欲しいという地域の皆様のととても大きな期待を背負っており、とても初々しい雰囲気職員さんが本当に熱心に仕事に取り組んでいるという印象を受けておりました。

それから約5年が経過しました。優秀なスタッフが次々と加わり、昔初々しかったスタッフはその中堅、若手スタッフを支え、大きくなった組織の要たる存在です。このような組織の成長のなかで、当法人は100件を超える後見案件を担当し、また滋賀県や県内の自治体等から委託された事業を担っています。また、全国に知られる存在ともなり、各地から視察や講師派遣等の要請も多数来るようになりました。短期間でここまで成長することが出来たのも、ひとえに皆様のご協力、ご理解があったからであり、また鎌田理事長の指導のもとスタッフが一丸となって活動を行って来たからであろうと思料致しております。

このように成長の一途を辿るあさがおの理事長によもや自分になるとは全く想像だにしておりませんでした。短期間で成長したが故の課題もありますし、財政面での厳しさは相も変らぬ状態であり、その責任の重さを痛感しております。また、今回、新理事として大津市社協の山口浩次さん、あさがお所長の尾崎史をお迎えすることになりました。日常的な活動を通じて見えてくる課題を理事会においてきちんと把握し、また、より多角的な視点から運営方針について議論をするためです。今後も理事、職員一同が一丸となって当法人の活動の充実のため努力をして参りますので、一層のご指導、ご支援の程、宜しく願いいたします。

第6回通常総会

第6回通常総会が、5月22日にピアザ淡海で開催されました。当日は開会にあたり、本年2月に亡くなった故鎌田昭二郎元理事長のご遺徳を偲び黙祷を行ないました。総会は、竹下理事長及び大津市の皆川健康政策課長の挨拶後、議長に永芳明氏を選任。その後、6つの議案を慎重審議頂きました。その結果は次の通りです。

第1号議案（平成21年度事業報告）と第2号議案（平成21年度決算）は関連があるので、一括審議され、全員一致で承認されました。第3号議案（平成22年度事業計画）と第4号議案（平成22年度事業収支予算）も関連があるので、一括審議され、質疑応答の後、全員一致で承認されました。第5号議案（定款の変更）は、副理事長の数を1名から2名への変更と前回変更済みの会員の種類が他の条項文中に残っていたことの追加修正を行なうことの説明をし、質疑応答の後、賛成全員にて承認されました。第6号議案（役員の変更）では、故鎌田理事長及び退任の堀村副理事長の後任として、尾崎氏、山口氏の2人を新任とし、その他役員については重任する旨の説明を行ない、賛成全員にて承認されました。

以上、すべての議案が承認され平成22年度が出発いたしました。今年度も、財政状況が大変厳しい折から、会員様と職員が一丸となって事業の更なる前進を目指し、6年目のあさがおを大きく美しく咲かせたいものです。



認知症ケア向上研修



介護サービス事業所の専門職等を対象に、認知症ケアの向上や地域支援の体制づくりが図られることを目的に、大津市受託事業として“認知症ケア向上研修”を開催しました。

今回は、6回シリーズの第1回目として「男性介護者の思い～介護を通して男の自立を検証する」とのテーマで『公益社団法人 認知症の人と家族の会滋賀県支部』副代表で御活躍中の小宮俊昭様をお招きし、ご講演をいただきました。

参加者の方に、男性介護者の生の声を聞いてもらうよい機会となりました。また、アンケート結果からは「情報提供の大切さを改めて考えさせていただきました。これからの仕事の中でうまく自分の持っている情報を提供していけるよう関わっていければと思います」「支援者としても余裕をもって接していくことの大切さを再認識した」といった声が聞かれ、研修を通じて、自分たちの支援のあり方を考えるきっかけとなり、よりよい支援へのさらなる一歩につながったと思います。

滋賀県高齢者虐待防止シンポジウム



7月26日、昨年に引き続き、県と合同主催で『滋賀県高齢者虐待防止シンポジウム』を開催し、滋賀県各地から多くの方がご参加くださいました。

今年は「いかそう！地域の福祉力！！～高齢者虐待防止のネットワーク～」というテーマで、中核地域生活支援センターほっとねっとまつどの藤井公雄氏をお招きし、『誰もが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる』ことを目指したセンターの実践について事例を交えてご講演いただきました。

また、シンポジウムでは、藤井氏のコーディネートのもと、民生委員児童委員からは竹園正美氏（大津市）、社会福祉協議会からは大久保孝仁氏（甲賀市）、行政からは谷口茂樹氏（近江八幡市）をシンポジストに、虐待ケースへの対応状況や課題、今後の展望などそれぞれの立場での関わりや思い、気づきなどをお話いただきました。

全体を通して、一つのケースをどう共有化していくか等、ケースを積み重ねていき、フィードバックしていくことの重要性を改めて認識するとともに、様々な取り組みを聞くなかで高齢者虐待防止のネットワークの構築・調整を図っていくための沢山のヒントをいただく、よい機会となりました。

アンケート結果からは、「何時でもだれでもどんなことでも最後まで…という言葉が印象的だった」「行政や社協、住民、専門職との連携が大切なことを改めて感じた」など多くの感想が聞かれました。今後、あさがおも滋賀県や大津市のネットワークの一員として地域の福祉力に貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

あさがおへの転職～半年間を振り返って～

小島 拓也



あさがおに転職をして半年が経ちました。一部の人からは「君の年齢（二十五歳）で NPO 法人を就職先とするのは間違っている。今すぐその職場を辞めた方が君の為だ。」と言われた事もありました。自分の選択は本当にこれで良かったのだろうか。この半年間、様々な「不安」と向き合ってきました。しかし、本当に向き合わなければいけなかったのは「自分自身」でした。自分は何の為に仕事をするのか、自分は何がしたいのか、今までずっと避けてきた「自分との会話」が今こそ必要なのではないか、そう思うようになりました。

学生時代は「会社知名度、給与体系、福利厚生」が自分にとって、会社選択の基準でした。そして希望通りの会社に進めたものの、その選んだ会社が倒産。自分の選択は間違っていたと思い、働く意欲と自信を失くし、三無主義の生活に陥りました。その生活は肉体的に楽でしたが、精神的には苦痛でした。そんな状況を打破する為、もう一度働こうと決意。同時に、働く上での意識を



自分の中で根本的に二つ変えました。一つは「お金のため」ではなく、「人のため」に働くこと。もう一つは「作られた環境」に入るのではなく、「環境を自分の力で作っていく」こと。この二つを自分に言い聞かせ、就職活動を始めました。そして、数ある就職先の中から「あさがお」を選びました。自分の中で「この選択は正しかった」と言える日を作るために、今後更なる自己成長を重ねていきたいと考えています。

私があさがおで半年間働いて感じたことがあります。それは「温かさ」です。あさがおの職場には、「ありがとう」を中心にプラスの言葉が溢れています。私が机上でパソコンと向い合っている時に、後ろを通ろうとする人がいたので、通りやすいように椅子を引くと「ありがとう」。外から帰ってくると「おかえりなさい」。外出時には「行ってらっしゃい」。自宅にいると何でもない当たり前のように聞こえる言葉です。しかし、当たり前のように聞こえる言葉たちが、この職場を自由に飛び交うと、そこで働く人たちを温かい空気で包みます。そんな温かい職場で働いている、あさがおの人達だからこそ、利用者さん・ご家族さん・各関係機関等と良好な関係を築きながら、仕事が出来ているのではないかと実感しています。

私があさがおで働かせて頂けていることの意味を常に考え、自分らしさを大切にしながら、あさがおに、地域に、そして、社会に貢献していきたいと思います。皆様の更なるご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

書籍紹介



「廃用身」「破裂」「無痛」と、医療の世界の様々な問題を取り上げる現役の医師でもある筆者の最新刊。安楽死は慈悲か殺人か！医療の世界の光と闇を、余すところなく描き切る社会派の小説。

『神の手』(上・下) 久坂部羊 NHK出版



人間はどこまでも残忍になれる一方で、極限のところにおいて尊厳高く振る舞うこともできる。それを支えているのは、「自分が人から必要とされている」という思い。人間の有り様について考えさせられる。

『レンタルチャイルド 神に弄ばれる貧しき子供たち』石井光太・新潮社

☆ 新職員紹介 ☆

～河合 玲子【地域支援員】～



被後見人さんの人となりや人生の背景をみつめ「その人らしい生活」が送れる支援ができるよう頑張ります。

～平尾 友子【地域支援員】～



今年から地域支援員の仲間に入れて頂きました。毎月、訪問させて頂き、一緒の時間を過ごしたいと思っています。宜しくお願いします。

～森田 定雄【地域支援員】～



ご縁があって、この度地域支援員の仲間に入れて頂きました。利用者により添いながら、その人の立場に立って物事を考えていきたいと思えます。

～木村 夏希【相談員】～



相談員として、少しでもあさがおの発展のお手伝いできればと思います。また、活力あるあさがおの一員として頑張りたいと思えますのでどうぞ宜しくお願いします。

今月の一句

燻し銀そんなあさがお咲かせたい

純坊

****あさがおの会員を募集しています****

私達の活動に賛同・支援していただける個人・法人の会員を募集しています。

個人 入会金 1,000円 年会費 5,000円

法人 入会金 10,000円 年会費 50,000円

お問い合わせは 077-522-0799 まで